

# I C Tを活用した 継続的薬学的管理実践のための 連携体制整備事業

滋賀県健康医療福祉部薬務感染症対策課  
一般社団法人滋賀県薬剤師会

山元新治  
大西延明

## 事業目的

### 【事業目的】

- 滋賀県では、I C T技術を用い医療・介護等の関連機関が相互に医療介護情報等を活用するための滋賀県医療介護情報等を活用するための滋賀県医療情報連携ネットワークシステム「びわ湖あさがおネット」を活用している。
- しかし、薬薬連携の成果が見えない、退院時カンファレンスへの参加薬局数が少ない、びわ湖あさがおネットへの参加薬局数が少ないといった課題がある。
- そこで、I C T技術を用いて診療情報や在宅療養支援情報を共有する「びわ湖あさがおネット」を活用し、かかりつけ薬剤師・薬局を中心とした、病院、かかりつけ医、他職種との連携による患者を支える枠組みを構築することにより、継続的薬学管理の実施を促進するモデル事業を実施する。

# 事業実施地域



## 【滋賀県】

人口：1,412,916人

薬局数：617薬局

## 【事業実施地域】

大津市保健医療圏

人口：340,973人

薬局数：141薬局

湖南保健医療圏

人口：333,744人

薬局数：150薬局

出典：人口「平成27年国勢調査」（総務省） 3

# 事業概要

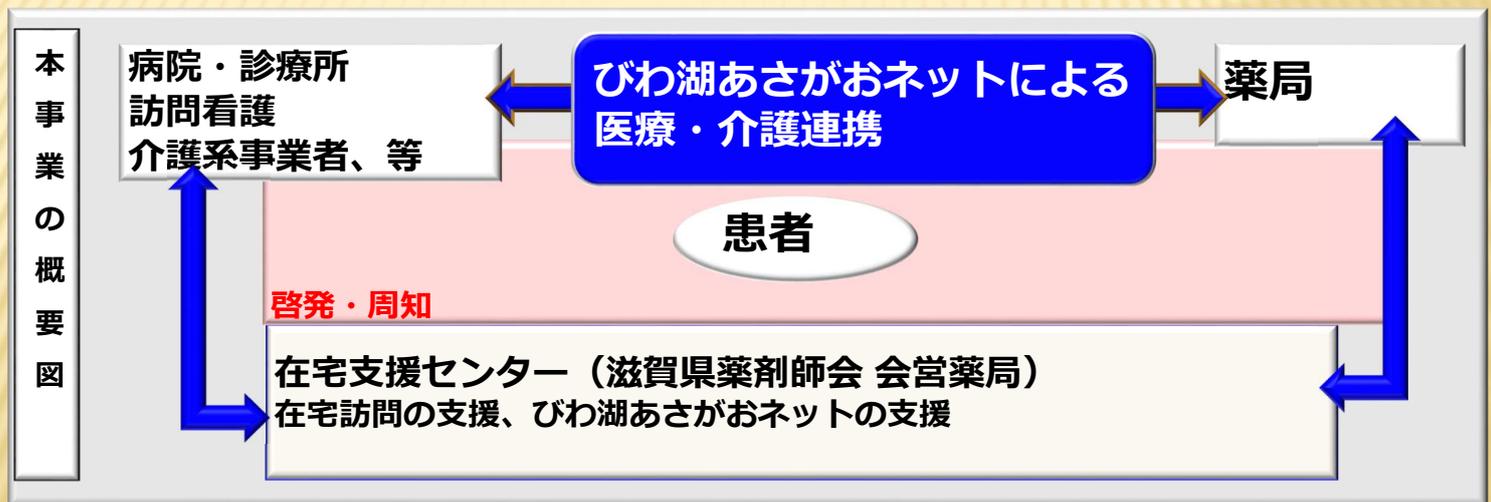
- 「びわ湖あさがおネット」を活用した薬学的管理指導・訪問薬剤管理指導を促進する。
- 病院、かかりつけ医、その他職種と情報共有を促進する。

このために！



- ① 連携協議体を設置
- ② びわ湖あさがおネットの使用方法・活用方法についての研修、薬剤師に対する在宅ホスピス等の資質向上研修を実施
- ③ 県民にびわ湖あさがおネットおよびその必要性を周知
- ④ 病院等とかかりつけ薬剤師・薬局の連携拠点となる在宅支援センターを設置
- ⑤ びわ湖あさがおネットを活用した好事例を収集し活用

# 事業イメージ



5

## ①連携協議体

連携協議体：薬局の連携体制整備のための検討モデル事業協議会

参加団体：滋賀県医師会、滋賀県歯科医師会、滋賀県病院協会、  
滋賀県薬剤師会、滋賀県病院薬剤師会、  
滋賀県看護協会、  
滋賀県訪問看護ステーション連絡協議会、  
滋賀県介護支援専門員連絡協議会、  
滋賀県介護サービス事業者連合会、  
滋賀県医療ソーシャルワーカー協会、  
草津保健所、大津市保健所

第1回開催日時：令和元年7月25日 13時00分～16時00分  
本事業にかかる各団体の取り組み状況および連携時の役割を確認

第2回開催予定：令和2年3月  
本事業の取り組み結果および今後の横展開について検討予定

6

## ②びわ湖あさがおネット関係研修会等

【12月まで】

研修会等	対象	参加者数	開催日	概要
「滋賀県医療介護情報連携ネットワークシステム」情報研修会	薬剤師	73人	令和元年6月16日	「びわ湖あさがおネット」の登録および利用研修
びわ湖あさがおネットの情報を活かすための研修会（症例を知る研修会）	薬剤師	18人	令和元年6月23日	びわ湖あさがおネットの情報（病名から病態を知る）を活用研修
びわ湖あさがおネットの情報を活かすための研修会（スキルアップ研修）	薬剤師	1人	令和元年7月16日	びわ湖あさがおネットの情報（検査値等）の活用研修
びわ湖あさがおネットの情報を活かすための研修会（スキルアップ研修）	薬剤師	1人	令和元年7月24日	びわ湖あさがおネットの情報（検査値等）の活用研修
モデル事業説明会	薬剤師	76人	令和元年8月16日	
モデル事業説明、びわ湖あさがおネット利用者認定および使用方法講習会	薬剤師	76人	令和元年8月18日	本事業および在宅支援センターの設置について周知、「びわ湖あさがおネット」の有効活用および患者への同意取得方法について講習
びわ湖あさがおネットの情報を活かすための研修会（症例を知る研修会）	薬剤師	10人	令和元年9月29日	びわ湖あさがおネットの情報（病名から病態を知る）を活用研修
第5回滋賀県介護支援専門員連絡協議会研修にて在宅業務や在宅ホスピス薬剤師の活用についての周知	介護支援専門員	35人	令和元年10月25日	在宅業務や在宅ホスピス薬剤師の活用周知
びわ湖あさがおネット利用者認定研修の開催	薬剤師	14人	令和元年11月3日	滋賀県医療介護情報連携ネットワークシステム「びわ湖あさがおネット」の登録および利用研修
びわ湖あさがおネット使用方法講習会	薬剤師	17人	令和元年11月3日	「びわ湖あさがおネット」を有効に活用するための実践形式の講習
びわ湖あさがおネット使用方法講習会	薬剤師	6人	令和元年11月24日	「びわ湖あさがおネット」を有効に活用するための実践形式の講習
在宅ホスピス薬剤師公開講座	薬剤師	61人	令和元年12月1日	在宅ホスピス薬剤師の在宅に関する知識向上研修

【今後の予定】

研修会等	対象	開催予定日	概要
びわ湖あさがおネットを利用した地域医療連携のための研修会	全医療関係職種	令和2年1月23日	「びわ湖あさがおネット」を利用して、薬局と病院が連携を深めるための研修
「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」にて本事業および在宅ホスピス薬剤師に関する講演	県民 全医療関係職種	令和2年2月20日	「びわ湖あさがおネット」を利用して、薬局と病院が連携を深める必要性について

## ③周知事業

令和元6月	薬局に対して、かかりつけ薬剤師制度、びわ湖あさがおネット活用の取り組み状況調査を実施
令和元7月～ 令和2年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まかせてよ！もっと身近に 薬剤師」事業実施マニュアルを配布 545部(各薬局1部)</li> <li>・「まかせてよ！もっと身近に 薬剤師」ポスターを配布 545枚(各薬局1枚)</li> <li>・「薬局は身近な健康パートナー」チラシを配布 16,350枚(各薬局30枚)</li> <li>・「びわ湖あさがおネットのご案内」チラシを配布 16,350枚(各薬局30枚)</li> <li>・びわ湖あさがおネット利活用早わかり図を配布 545枚(各薬局1枚)</li> <li>・「BIWA-TEKUをダウンロードして薬局へ行こう！」チラシを配布 16,350枚(各薬局30枚)</li> </ul>
令和元8月	在宅支援センター便り（2019.8 1号）を配布545枚(各薬局1枚)
令和元9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅支援センター便り（2019.9 2号）を配布 544枚(各薬局1枚)</li> <li>・薬局に対して、かかりつけ薬剤師制度、びわ湖あさがおネット活用の取り組み状況調査を実施（令和2年2月実施アンケート後、解析を行う。）（回答数198件/544件、回収率37%）</li> </ul>
令和元10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅支援センター便り（2019.10 3号）を配布 539枚(各薬局1枚)</li> <li>・「「びわ湖あさがおネット」とは？」チラシを配布 16,170枚(各薬局30枚)</li> <li>・「そうだ かかりつけ薬剤師に聞いてみよう！」ポスターを配布 539枚(各薬局1枚)</li> <li>・「そうだ かかりつけ薬剤師に聞いてみよう！」チラシを配布 16,170枚(各薬局30枚)</li> </ul>
令和元11月	在宅支援センター便り（2019.11 4号）を配布 538枚(各薬局1枚)
令和元12月	在宅支援センター便り（2019.12 5号）を配布 540枚(各薬局1枚)
令和2年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅支援センター便り（2019.12 6号）の配布予定</li> <li>・薬局に対して、かかりつけ薬剤師制度、びわ湖あさがおネット活用の取り組み状況調査の実施予定</li> </ul>

## ④在宅支援センター

設置年月日：令和元年7月8日  
設置場所：滋賀県薬剤師会会営薬局内

### 在宅支援センターの役割

在宅訪問の支援	☆在宅に関するあらゆる質問への対応 ☆困難事例のマッチングサポート ☆無菌調剤などの研修の実施 ☆初めて在宅訪問を行う薬局への支援 など
びわ湖あさがおネットの支援	☆登録方法、使用法の支援 ☆びわ湖あさがおネットを利用した好事例の収集、情報発信、問題点の把握

### 相談内容（令和元年12月末現在）

在宅訪問に関する質問：42件 びわ湖あさがおネットに関する質問：8件

### 相談者

薬局薬剤師：38人 病院薬剤師：1人 診療所医師：1人 訪問看護師：2人 ケアマネジャー：2人  
病院地域連携関連部署：4人 その他：2人

## 在宅支援センター便り

2019.8

1号

### お知らせ 在宅支援センターが設置されました！！

この度、滋賀県薬剤師会会営薬局内に在宅支援センターが設置されました。

会営薬局職員が、「会員薬局の在宅訪問」並びに「びわ湖あさがおネットを用いた連携」をサポートします。

びわ湖あさがおネットを利用することにより、通院⇔入院⇔在宅療養とどんな状態になっても、他施設と情報共有しながら患者さんをサポートし続けることができます。

在宅に関するあらゆる質問に対応します。質問の積み重ねにより、在宅支援センターの質が向上していくと考えています。どんなことでもお気軽にお尋ねください。

#### 在宅支援センターの役割

##### ●在宅訪問の支援

- ☆在宅に関するあらゆる質問への対応
- ☆困難事例のマッチングサポート
- ☆無菌調剤などの研修の実施
- ☆初めて在宅訪問を行う薬局への支援など

##### ●びわ湖あさがおネットの支援

- ☆登録方法、使用法の支援
- ☆びわ湖あさがおネットを利用した好事例の収集、情報発信、問題点の把握

#### 研修会のご案内

『多職種との連携体制整備のためのモデル事業説明会』  
内容：在宅支援センターの紹介並びにびわ湖あさがおネットの使用法について  
日時：令和元年8月18日13:30～16:30  
場所：草津市立市民交流プラザ 大会議室

#### びわ湖あさがおネットとは

☆病院・診療所・薬局や、在宅医療・介護にかかわる期間・事業所の間で、患者様の診療情報・介護情報・療養情報を共有するシステム

☆退院や入院、退院後の通院や在宅での介護・療養などの場面において、切れ目のない質の高い医療・介護サービスを受けることができるようにすることを目的とします。

☆病名、退院時サマリ、入院中の処方内容、病院で受けた注射の内容、手術レポート、各種検査レポートなどを確認できるため、今まで、患者からの聞き取りでしか得られなかった情報を正確に把握することができます。

☆在宅療養に移行した時には、医師、訪問看護師、ケアマネジャーと情報を共有するツールとして活用することができます。

「びわ湖あさがおネット」は、切れ目のない患者サポートに役立ちます。  
「びわ湖あさがおネット」に登録を行いましょう。

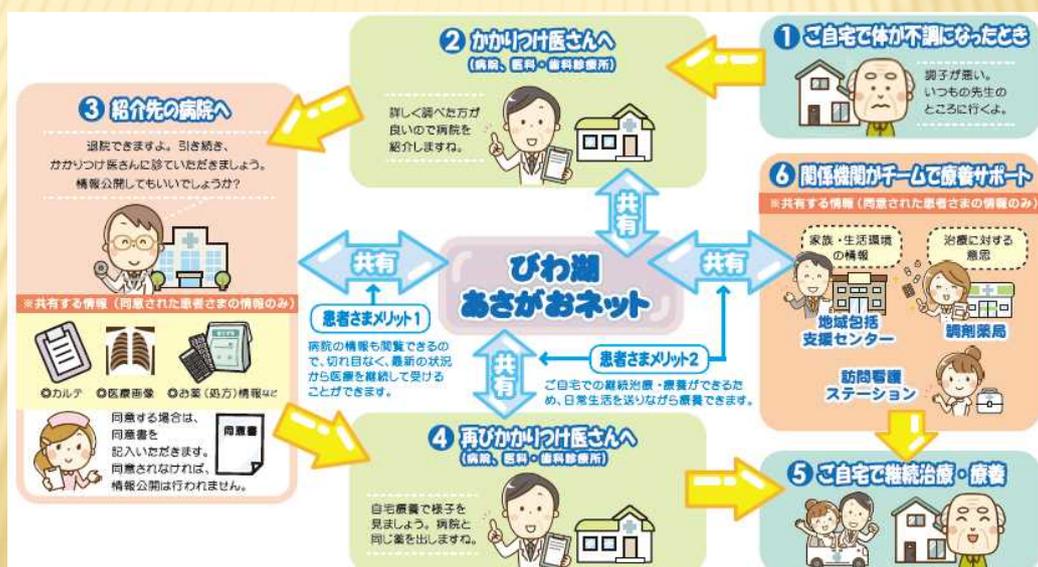
※次号では、実際の事例などを紹介できればと思っています。楽しみに！

# 在宅支援センターの実績

1	<p>☆在宅に関するあらゆる質問への対応 薬局からの相談</p> <p>病院からインスリンの混注依頼があり、毎日混注して訪問するよう依頼されたが、毎日ではマンパワー的な問題もあり負担が大きい。</p> <p>→インスリン混注時の残存濃度の資料を提供。医師へも根拠をもって説明し、週1~2回の訪問を行うことになり、在宅訪問の負担が減ることにより、他の患者の在宅訪問の時間が確保できるようになった。</p>
2	<p>☆困難事例のマッチングサポート A病院より困難事例のマッチング依頼</p> <p>「障害を持った50代の兄弟を持つ母が薬の管理が全くできていない。薬局に介入してもらいたい。地域の結束の強すぎる土地柄から、地元以外の薬局を希望されている。何とかならないか？」</p> <p>→受け入れてくれる薬局を探すとともに、薬局の守秘義務、地域の薬局が担うメリットなども説明。受け入れ可能薬局を探し、2軒の薬局を紹介する。最終的に地元の薬局の介入の意義を理解いただき、地元の薬局が介入することとなった。</p>

## ⑤【びわ湖あさがおネット】 (医療情報介護情報連携ネットワークシステム)

ICT技術を用いて、安全に診療情報や在宅支援情報を医療機関で共有できるシステムで、医療機関の診療情報や在宅医療・在宅療養サービスにかかる情報を共有することにより、患者や家族に安心とより良い医療・在宅サービスの提供と実現を目指しています。



# びわ湖あさがおネット トップ画面

施設患者ID 施設患者ID 地域患者ID 地域患者ID 氏名 氏名 生年月日 生年月日 検索

インフォメーション

お知らせ

2019年04月16日(火) 感染症よりシステム停止のお知らせ

2019年04月11日(木) 夜間メンテナンスのお知らせ

2019年04月05日(金) 様式集の変更について

2019年04月05日(金) Windows7サポート期間終了に伴うびわ湖あさがおネットへの接続について

2019年04月01日(月) 【滋賀県医師会員限定】県医師会報3月号登録のお知らせ

お知らせ一覧

地域患者管理

追加施設一覧

メール

包括同意照会

ファイル共有

自施設患者一覧

最新記事一覧

在宅患者一覧

文書管理

職員予定管理

職員記録管理

実績出力

## 患者を選択すると連携先が表示される

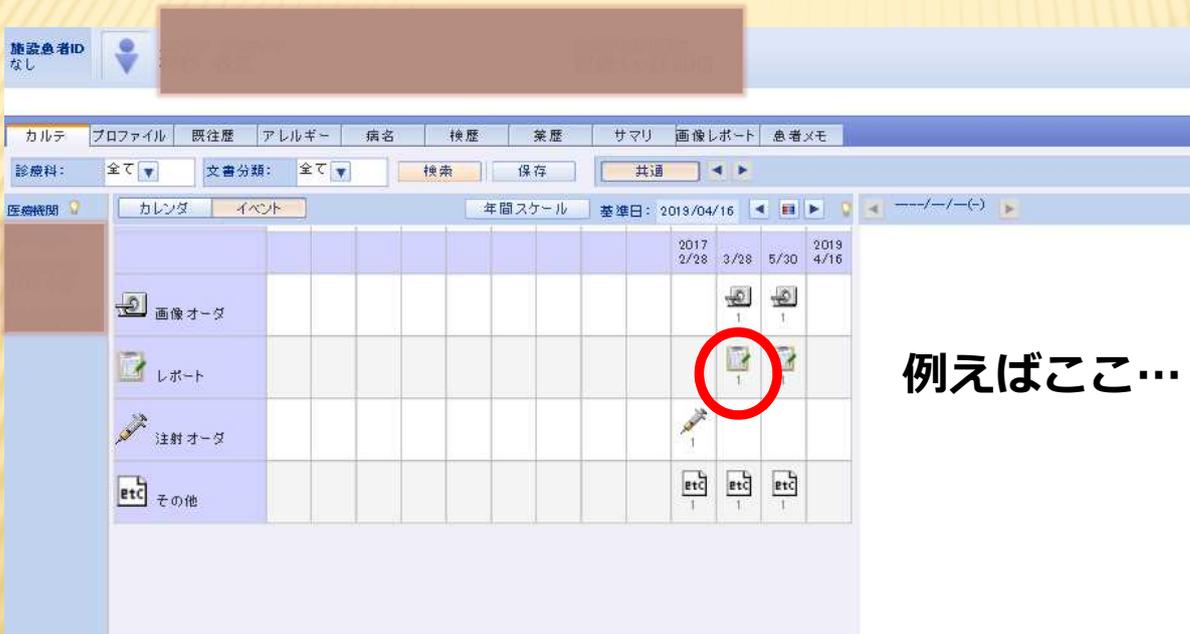
患者情報

受診施設一覧

施設患者ID	施設名	ID-LINK
34	病院のみ 茶島	
5707390	病院のみ 病院	
15670	病院のみ 眼科	
002618	病院のみ クリニック	
11267	病院のみ 内科医院	
04122172	病院のみ 病院	ID-LINK
20023442	病院のみ 病院	ID-LINK
0005707390	病院のみ 病院	Human Bridge
34	病院のみ 薬局	小規模医療

青文字の病院と連携が可能

# 病名や検査値、医師のコメントなども閲覧できる



医療者ID なし

カルテ プロファイル 既往歴 アレルギー 病名 検歴 業歴 サマリ 画像レポート 患者メモ

診療科: 全て 文書分類: 全て 検索 保存 共通

医療機関 カレンダー イベント 年間スケール 基準日: 2019/04/16

	2017 2/28	3/28	5/30	2019 4/16
画像オーダ				
レポート				
注射オーダ				
その他				

例えばここ...

## MRI画像 医療従事者同士が情報共有できる。



https://ehr.biwako-asagao.net/ - レポートURLビューア - Internet Explorer

肩MRI  
上腕骨頭-肩峰間距離狭小化  
棘上筋腱著明に菲薄化著明  
肩甲下筋腱上縁側にも損傷  
棘下筋にも萎縮  
肩峰下滑液包を含め液貯留は軽微

上腕二頭筋長頭腱は結節間溝内より逸脱し内側を下行  
関節窩前唇変形

肩鎖関節変形 亜脱臼?

【診断・結論】  
腱板断裂

1 2 3

初期表示 閉じる

# 画像・文書をクリック

医療患者情報

患者文書一覧

該当する情報が見つかりませんでした。

この新規登録をクリックすれば

新規登録

カレンダー

2019/01/28

文書アップロード

文書種別: 紹介状

文書タイトル

コメント

添付ファイル

参照ボタン

オリーブ薬局・大西 延明

日付: 2019/10/22

画像・文書

コメント

トレーシングレポートも写真もなんでも添付ファイルとして共有できる

	12/31~1/6	1/7~1/13	1/14~1/20	1/21~1/27	1/28~2/3	2/4~
処方		🔒🔒			🔒🔒	
注射						
検査						
画像・文書						
共有ファイル						
予定						

他にも、メール添付したり、病院側の情報に書き込むこともできる。

施設患者ID 施設患者ID 地域患者ID 地域患者ID 氏名 氏名 生年月日 生年月日 検索

インフォメーション

お知らせ

- 2019年10月09日(水) 病院よりメンテナンスのお知らせ [メンテ](#)
- 2019年10月08日(火) 病院 システム停止のお知らせ [メンテ](#)
- 2019年10月04日(金) 通常 [メンテ](#)  
ひびろ湖あさがおネット終了時の操作につきまして
- 2019年10月03日(木) [メンテ](#)  
地域連携システムID-Linkの一時停止について
- 2019年09月30日(月) [メンテ](#)  
夜間メンテナンスについて

お知らせ一覧

地域患者管理

参加施設一覧

メール

包括同意照会

ファイル共有

自施設患者一覧

最新記事一覧

在宅患者一覧

文書管理

職員予定管理

職員記録管理

実績出力

## 医療機関

-  病名
-  退院サマリ
-  注射内容
-  各種検査レポート
-  手術レポート
-  処方内容

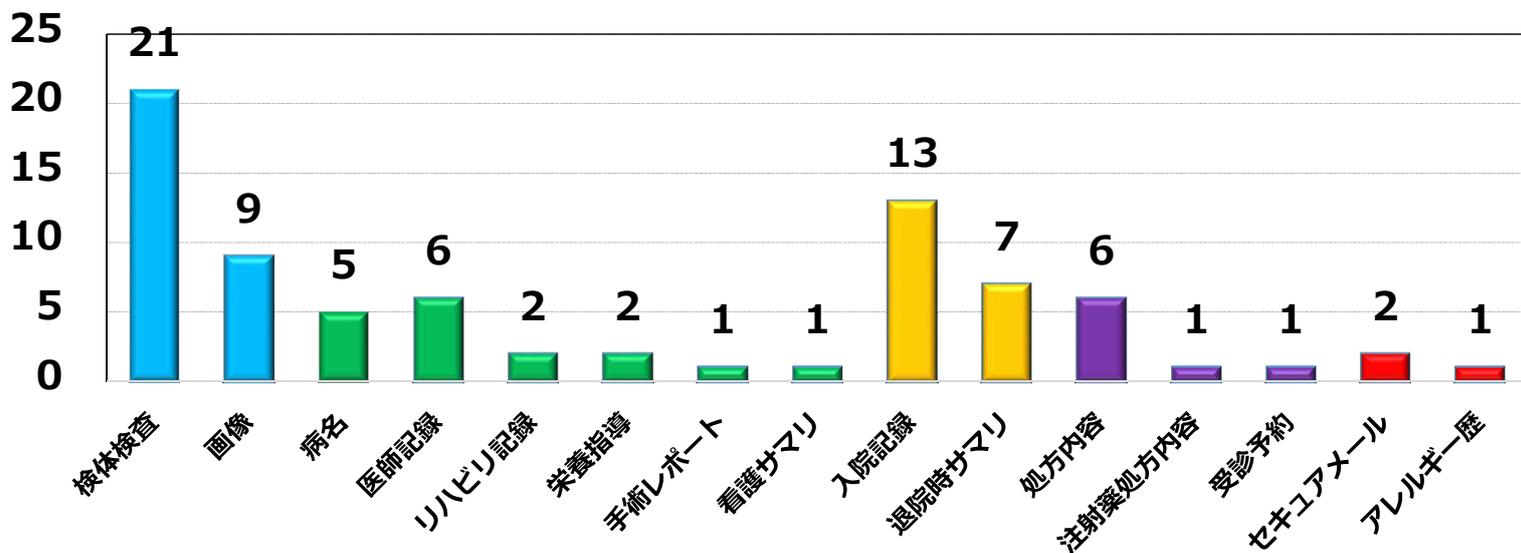
## 薬局

-  身体機能・アドヒアランス
-  生活背景
-  処方内容・調剤方法
-  トレーシングレポート  
情報提供書・報告書

# びわ湖あさがおネットの参照項目

(重複項目あり)

好事例報告より (n=54)



検査結果  
30件

カルテ情報  
17件

入退院情報  
20件

オーダ情報  
8件

その他  
3件

## 連携成果 (重複項目あり)

好事例報告より (n=54)



21

## びわ湖あさがおネットを活用した好事例報告

1	<p>☆入院時の薬剤情報を確認できた一例 退院後初来局された患者</p> <p>入院前と同じ処方であり、その旨説明してお渡し。 翌日、電話があり、「退院時にもらったものと違うものが入っている。」との訴え。 びわ湖あさがおネットにて入院中の処方を確認したところ、入院前はネキシウムであったPPIが、入院中はランソプラゾールに変更になっていた。退院時処方もランソプラゾールであったことを確認。 入院先の病院の採用薬の関係でやむを得ず変更となっていたことを確認。効果に大きな違いはなく、入院前の処方に戻ったことを説明し、理解して頂いた。</p>
2	<p>☆根拠のある疑義照会が行えた一例 慢性心不全、CKD、脂質異常症などの疾患がある患者</p> <p>チラーチンS (12.5) を服用中。定期薬に変更なかったが、投薬時に話を伺うと、「診察時に甲状腺の薬が減ると聞いた気がする・・・」とのこと。びわ湖あさがおネットで検査値を確認したところ、FT4が1.9ng/l、TSHが1.88ng/lとチラーチンがなくても大丈夫な数値であったため、疑義照会を行い、チラーチンが削除となった。</p>

22

## びわ湖あさがおネットを活用した好事例報告

3	<p>☆病名閲覧により良好なコミュニケーションができ、薬学的管理が充実した一例</p> <p>患児の状態が把握しづらくコミュニケーションも取りづかった（自宅療養中で多くの障害があるのは把握していたが、来局される母親も話をしたがない状況であった）。病名、レスパイト入院時の看護記録、アレルギー歴より、生活背景を含む多くの情報が得られ、患児の母親とのコミュニケーションが良好となった。</p>
4	<p>☆セキュアメールの活用</p> <p>地域薬剤師会と総合病院、病院近隣の薬局とで毎月連携会議を開催。薬局から血液検査値の依頼、病院から薬局への吸入指導等の依頼など、トレーシングレポートなどを活用した連携が増えてきている。</p> <p>ただ、トレーシングレポートの他、患者情報を含む書類のやりとりは、個人情報観点からも通常のメールやFAXは適切ではなく、セキュリティーの高い方法で行うことが求められている。そこでびわ湖あさがおネットのセキュアメールを活用することとなった。</p> <p>→FAXや郵送ではできなかったデータのやり取りが可能。 メールリスト機能を使うことで、薬薬連携の通知や議事録の共有、研修会案内、各団体が行っている事業の共有などが簡便にできるようにもなり、連携強化が図れるようになった。</p>

23

## びわ湖あさがおネットを活用した好事例報告

5	<p>☆セキュアメールの活用 (STOP AKI活動におけるびわ湖あさがおネットを介した事例)</p> <p>ACE/ARB、利尿剤、NSAIDSの3剤併用もしくは2剤併用の患者を薬局でピックアップし、AKI注意喚起のパンフレットを交付。</p> <p>パンフレットを交付した患者リストをびわ湖あさがおネットのメールに添付し、病院薬剤部に情報提供。</p> <p>その後、薬剤部よりeGFR、Stage等の欄を記入したものを薬局にフィードバックしてもらうことで保険薬局による継続的薬学的モニタリングを実施。</p> <p>(次頁参照)</p>
---	---

24

# STOP AKI

## 薬剤性腎障害回避を目的とした連携・モニタリング

### 保険薬局

ACE-I/ARB・利尿剤の2剤、  
またはNSAIDsを含む3剤併用中の患者  
**調剤レセコン検索**

### 病院薬剤部

eGFR値、Stage、  
ΔeGFR（1年間の変化率）、介入必要性  
**カルテ検索・コメント記載**

※セキュアメールで連携

保険薬局記載欄							病院薬剤部記載欄			
患者名	患者ID	薬剤①		薬剤②		薬剤③	eGFR	Stage	ΔeGFR	介入必要性
滋賀花子	123456	ホメタカ20mg	循環器	70ピミド20mg	循環器	なし	94	G1	低下無	なし
滋賀太郎	234567	アムロ配合錠	消内科	トレミド4mg	循環器	ロキソプロフェン錠60mg 他医院	25	G4	-4.2	あり
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

③

保険薬局がびわ湖あさがおネット  
の利用同意を取得

④

保険薬局による  
継続的薬学的モニタリング実施

## 「在宅のいろは マニュアル」の作成

今後さらに在宅医療のニーズが増して  
いくなかで、さらに多くの薬局が在宅  
へ関与していく必要がある。

薬剤師が在宅医療を円滑に実践する  
ためのツールとして活用。

手続きの確認、届出、準備、  
請求など事細かく記載。



目 次	
在宅医療の手続きと流れ	P1
訪問開始にあたって	P2
確認・届出	P3
準備	P4
訪問の指示・打ち合わせ・契約・針薬書作成	P5
訪問	P6
報告・薬歴	P10
請求	P11
医療保険と介護保険、施設による算定の可否	P13
概要	P14
緊急時等の薬学的管理指導	P15
各種加算について	P16
注射薬の調剤	P17
「居宅療養管理指導」と「在宅患者訪問薬剤管理指導」の比較	P18
居宅療養管理指導費（介護保険）及び在宅患者訪問薬剤管理指導料（医療保険）の算定について	P19
遠隔時共同指導	P20
無菌調剤室の共同利用	P21
サポート薬局制度	P23
医療材料・衛生材料の供給体制	P24
医療用品共有システム	P25

### 算定 医療保険と介護保険、施設による算定の可否 医 介

■医療保険と介護保険の取扱い  
介護保険と医療保険で同じサービスがある場合は、介護保険による給付が優先されます。(請求決定第5条の2)  
そのため、要介護・要支援認定を受けている患者への在宅療養の場合は、(介護予防) 居宅療養管理指導費を請求し、  
そうでない場合は、在宅患者訪問薬剤管理指導料を請求します。

・介護保険認定者(要介護1～5)は介護1～5のいずれかが算定されています。介護認定を要介護1～5に引き上げられたり、介護認定がなくなると、介護保険請求ができません。  
※介護認定がなくなった場合は、介護認定を要介護1～5に引き上げられたり、介護認定がなくなると、介護保険請求ができません。  
・この算定が算定の優先順位、介護認定の申請中にもあり、本人または家族に確認します。  
申請中の場合、認定されると申請日までの算定が有効となります。そのため、月曜日の保険請求となることもあります。  
・認定の有効期間が過ぎている場合は、無効のため、有効期間の確認も重要です。

要介護認定の記入あり  
(記入がない申請の場合は、申請日までの算定)

要介護認定の記入なし  
または、要介護認定の有効期間が過ぎている場合

介護保険請求 介  
要支援 1～2 要介護 1～5

予防給付 介護予防居宅療養管理指導費  
介護給付 居宅療養管理指導費

■短入居者への在宅療養算定の可否について

算定	対象	算定可能の条件
要介護1～5	要介護1～5の居宅療養管理指導費	要介護1～5の居宅療養管理指導費(介護認定)に該当している患者 ※介護認定がなくなった場合は、介護認定を要介護1～5に引き上げられたり、介護認定がなくなると、介護保険請求ができません。
要支援1～2	介護予防居宅療養管理指導費	要支援1～2の居宅療養管理指導費(介護認定)に該当している患者 ※介護認定がなくなった場合は、介護認定を要介護1～5に引き上げられたり、介護認定がなくなると、介護保険請求ができません。

■介護療養の単位について  
介護療養の単位は「介護」が算定されています。この「介護」は介護1～5のいずれかです。介護1～5のいずれかです。介護1～5のいずれかです。

■特別地域加算等について  
介護療養の単位は「介護」が算定されています。この「介護」は介護1～5のいずれかです。介護1～5のいずれかです。介護1～5のいずれかです。

### 算定 概要

◆要介護認定・要支援認定を受けていない方

#### 在宅患者訪問薬剤管理指導料の算定 医

請求先 請求先 又は 支払基金

請求内容

すべて医療保険に請求

1) 第一種特別患者が1人 830円/回  
2) 第一種特別患者が2～9人 3200円/回  
3) 第一種特別患者が10人以上 8900円/回  
※1回の訪問は1人につき1回～4回まで、1回あたり10分以内とする。

在宅患者訪問薬剤管理指導料

在宅患者訪問薬剤管理指導料  
在宅患者訪問薬剤管理指導料  
在宅患者訪問薬剤管理指導料  
在宅患者訪問薬剤管理指導料  
在宅患者訪問薬剤管理指導料  
在宅患者訪問薬剤管理指導料

請求先 請求先 又は 支払基金

請求内容

介護保険に請求する部分

1) 第一種特別患者が1人 830円/回  
2) 第一種特別患者が2～9人 3200円/回  
3) 第一種特別患者が10人以上 8900円/回  
※1回の訪問は1人につき1回～4回まで、1回あたり10分以内とする。

在宅患者訪問薬剤管理指導料

在宅患者訪問薬剤管理指導料  
在宅患者訪問薬剤管理指導料  
在宅患者訪問薬剤管理指導料  
在宅患者訪問薬剤管理指導料  
在宅患者訪問薬剤管理指導料  
在宅患者訪問薬剤管理指導料

請求先 請求先 又は 支払基金

請求内容

介護保険に請求する部分

1) 第一種特別患者が1人 830円/回  
2) 第一種特別患者が2～9人 3200円/回  
3) 第一種特別患者が10人以上 8900円/回  
※1回の訪問は1人につき1回～4回まで、1回あたり10分以内とする。

在宅患者訪問薬剤管理指導料

在宅患者訪問薬剤管理指導料  
在宅患者訪問薬剤管理指導料  
在宅患者訪問薬剤管理指導料  
在宅患者訪問薬剤管理指導料  
在宅患者訪問薬剤管理指導料  
在宅患者訪問薬剤管理指導料

請求先 請求先 又は 支払基金

### 医療材料・衛生材料の供給体制

#### 薬局を介した衛生材料の供給の仕組み

主治医が、当該患者に在宅患者訪問薬剤管理指導料を算定するに当たっては、在宅患者訪問薬剤管理指導料の算出に必要となる衛生材料の種類とその量について指示した場合には、患者宅等に提供される仕組みが整備されました。(平成28年改定)

【概要】  
①薬局の指示を受けた訪問看護ステーションが、必要な衛生材料の量を訪問看護ステーションと薬局とに照会し、生活費へ支出する。また、使用実績については訪問看護ステーションと薬局とに照会し、生活費へ支出する。  
②訪問看護ステーションが、必要な衛生材料の量を訪問看護ステーションと薬局とに照会し、生活費へ支出する。また、使用実績については訪問看護ステーションと薬局とに照会し、生活費へ支出する。  
③訪問看護ステーションが、必要な衛生材料の量を訪問看護ステーションと薬局とに照会し、生活費へ支出する。また、使用実績については訪問看護ステーションと薬局とに照会し、生活費へ支出する。

日本薬剤師会「在宅患者支援マニュアル」から転載

#### 医療材料・衛生材料供給の流れ(3パターン)

①処方せんによる供給(特定保) ②医療機関指示による供給 ③患者実費による供給(院外保材料)

訪問看護ステーション 医療機関 患者 薬局 支払基金

日本薬剤師会「在宅患者支援マニュアル」から転載

## 事業の進捗

## びわ湖あさがおネット活用基盤

びわ湖あさがおネットの加入薬局数  
事業開始時 69 薬局 >>>> 目標 90 薬局  
➡ 令和元年9月末 82 薬局

びわ湖あさがおネットの同意患者取得数  
事業開始時 9人 >>>> 目標 160人  
➡ 令和元年9月末 88 薬局

## 在宅支援センター活用

令和元年12月末 50件  
➡ 支援の継続

## 好事例収集

令和元年12月末 54件  
➡ 事例集として活用

# 今後の予定

～令和元年11月	<p>令和元年6月 「まかせてよ！ もっと身近に薬剤師」事業でのアンケートの実施          " 在宅支援センターの設置・周知          " びわ湖あさがおネット利用者認定講習会の開催</p> <p>令和元年7月 第1回薬局の連携体制整備のための検討モデル事業協議会開催</p> <p>令和元年7月～9月 各団体への事業説明および協力依頼</p> <p>令和元年8月 多職種のモデル事業説明、びわ湖あさがおネット利用者認定および使用方法講習会の開催          " 好事例報告フォームの設置(ホームページ公式サイト)</p> <p>令和元年9月 「まかせてよ！ もっと身近に薬剤師」事業でのアンケートの実施</p> <p>令和元年10月 評価指標に関するアンケートの実施          " 各種イベントでのアンケートの実施</p> <p>令和元年11月 びわ湖あさがおネット利用者認定研修の開催          " びわ湖あさがおネット使用方法講習会の開催          " 各種イベントでの周知およびアンケートの実施</p>
令和元年12月	令和元年12月 好事例集・在宅支援センター便りの掲載(ホームページ会員サイト)
令和2年1月	<p>びわ湖あさがおネット使用方法講習会の開催</p> <p>びわ湖あさがおネットを利用した地域医療連携のための研修会の開催</p> <p>「在宅のいろは(改定版)」の送付</p>
令和2年2月	<p>評価指標に関するアンケートの実施</p> <p>「まかせてよ！ もっと身近に薬剤師」でのアンケートの実施</p> <p>「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」での本事業および在宅ホスピス薬剤師に関する講演</p> <p>介護支援専門員連絡協議会との連携会議</p>
令和2年3月	<p>第2回薬局の連携体制整備のための検討モデル事業協議会の開催</p> <p>成果をとりまとめ、厚生労働省へ報告</p>

